

祝100号！ヒグマたちと歩んだ軌跡

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ
クマ牧場通信
100号

2025年
10月1日

発行

のぼりべつ
クマ牧場
動物課



コテツ

ダイチ

立派なオスグマに成長した創刊号で取り上げたコテツとダイチ＝9月18日



皆様、こんにちは！こんばんは！
「飼育員は見たべあ！」総編集担当の
飼育員Iです。今月号は記念すべ
き第100号という事で作成裏話など
をお話します

「飼育員は見たべあ！」は、お客様
にもつとクマ牧場の事を知ってもらい
たいという飼育員の想いから誕生し
ました。私が関わり始めたのは入社
2年目の冬、第57号からです。初
めは元々の編集担当者からあれやこ
れやと教えてもらいながら見様見
真似で編集を行っていました。そして、
次の58号からは、「全部一人で行っ
てみて！」という前担当者からの無
茶ぶりでまだ慣れない作業で非常に
不安な中、ポチポチとパソコンをいじ
りながら編集を行ったのを今でも覚
えています(笑)。

また、色々と試行錯誤を重ねる
中で、お客様の目を引く為にはどう
したらいいだろう？といった葛藤や、
やつと完成して提出した原稿に、多
くの添削がなされて返却された時に
は、自らの未熟さを痛感したりと
様々な事がありました。今では良
い思い出です。

そして、原稿作成を通じて成長し
たのは編集担当者だけではありません
！創刊号にて取り上げた2頭の
子グマ「コテツ」と「ダイチ」の成長ぶ
りもお届けいたします。

コテツは、現在子グマ牧場で展示
中の「モコロ」のお父さんで、顔周りの
毛が白っぽい所が特徴です。性格は
やんちゃなオラオラ男子です。

また、ダイチはオラオラ系のコテ
ツとは打って変わって非常に紳士的
な優しい性格の持ち主です。幼かつ
た2頭もたくましいオスグマに成長
しました！

長々とお話ししましたが、ここで
重大発表です。この「飼育員は見たべ
あ」は100号をもちまして毎月発行か
ら季節発行へと移行します！今後は
4月の春号、7月の夏号、10月の
秋号、1月の冬号として、年4回の
発行となります。

100号まで続けられたのは読んで
いただいたお客様がいてこそです。ご愛
読本当にありがとうございます！
また、季節発行になる分、時間をか
けた取材でクオリティは落とさずに
今後も頑張っていきますので応援よ
ろしくお願いします！

ちなみに、過去の記事についてはと
なりの二次元コードから見ることが
できるので是非チェックしてみてください
さい！



過去の「飼育員は見たべあ！」はこちらの2次元コードからアクセス！

携わってきた

飼育員の自己紹介



- ① 名前(イニシャル)
好きなヒグマ
- ② 過去のおすすめ記事
何かひとこと！



- ① 飼育員 O・T
エース：鼻が長めでのつべりしているところが特徴的。いつものんびりしている所が可愛いです。
- ② 2020年12月の第42号の「エース」の事に関して書いていた記事です。推しグマがメイン記事になっていたのにおすすめです！
- ③ 見たべあだけでなく、SNSなどでこれからもクマ牧場の魅力を伝えられるように頑張っていきたいと思います！



- ① 飼育員 I・M
コタロウ：冬毛の時の耳が小さく、まん丸の顔が好きです。また、中におじさんが入っているかのように、見る度に面白い体勢になっているので笑ってしまいます。性格は少し臆病な所がありますが、そんな所もコタロウらしい好きな所です。
- ③ 私のおすすめの記事は「今日のく

まさん」です。特に2024年10月に掲載のレナは1年経った今でも変わらず食いしん坊でお腹が空くと唸ってアピールをします。

④ 飼育員は見たべあを通して、のぼりべつクマ牧場の歴史を共有できることは素敵だなと思います。これからものぼりべつクマ牧場をよろしく願います。



- ① 飼育員 H・K
スマリ：ぼんやりした顔が推しポイント。性格がきついのはご愛嬌。
- ② 41号から数回掲載されている、「マニアの独り言」です。マニャクなのに最後にはクスッと笑える内容です。一度読んでみてください。不思議と頭に残ります。
- ④ 過去の見たべあでは、今では立派に成長したヒグマ達の若い頃の姿も見ることが出来ます。推しのヒグマがいたら、ぜひ名前を探してみてください。



- ① 飼育員 I・A
ラッキー
- ③ 年に1回の子グマの名前発表記事。また記事と現在のヒグマを見比べていただくと大きく成長していることが皆さんにもより伝わるのではないのでしょうか。
- ④ 私の推し、ラッキーは今年生まれ

の子グマ、アイナとルカの母です。ラッキーは時々第二牧場に出ていたのでその時は絶対に探してみてください！起立している時の手と口がとても可愛いです。



- ① 飼育員 H・K
アクア：黒い体に大きな白斑。天真爛漫で元気にいっぱい遊んでいるところ。
- ③ 第78号(2023年12月)「高齢個体に安心安全な放飼場を」私が初めて見出しを担当した記事であり、入社後初の大掛かりな作業だったため、非常に印象に残っています。完成後、実際に放飼場を使ってくれている様子を見て、とても嬉しく思い出深い記事となりました。
- ④ 記念すべき100号に携われたことを、心から光栄に思っています。今後は毎月の発行ではなくなりますが、引き続きご覧いただければ幸いです。



- ① 獣医 H・K
スマリ：幼少期に1頭で過ごし、他のヒグマとの交流の機会がほとんどなかったスマリ。その結果、他者に依存しない孤高の存在となり、圧倒的野生感を醸し出している。

一方、子育ては非常に上手で、素敵な母グマとしてもその魅力を輝かせている。

- ③ クマ牧場での日常を4コマ漫画にした「のぼりべつクマ劇場」が好きです。ヒグマや飼育員の些細な出来事や気持ち伝わる素敵なコーナーです。創刊号より56号まで掲載されていますので、ぜひご覧ください。
- ④ 今後もヒグマに関する研究や新情報など興味深いトピックをお届けしていきたいと思っております！乞うご期待！



- ① 獣医 T・N
ノリピー：好きなところは沢山ありますが1つに絞るなら上目遣い
- ③ 推しクマ紹介(ノリピー)
- ④ 入社して2年目に入りました。見分けがつかなかったヒグマたちもイケメン具合や美人具合がわかるようになり、好みの顔までできてきました。先日は4〜5年前のノリピーの写真を見て「若い！」と思うまでになっていました。ノリピーは36歳のおばあちゃんでしたので、5年前でも31歳です。人で表せば108歳と93歳を比較していることになります。私もだいぶクマ牧場の従業員らしくなってきたということですね。